

平成23年度第1回武蔵村山市地域公共交通会議

資料一覧

番号	資料名	使用議題
資料1-1	武蔵村山市地域公共交通会議設置要綱	議題1
資料1-2	武蔵村山市附属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針	議題2
資料1-3	武蔵村山市地域公共交通会議の会議の公開に関する運営要領（案）	議題2
資料1-4	今年度の会議の実施予定（案）	議題3
資料1-5	実態調査の実施概要	議題3
参考資料	武蔵村山市バス路線網図	議題4
参考資料	市内循環バスパンフレット	議題4
資料1-6	武蔵村山市内循環バス輸送実績（過去5年間）	議題4
資料1-7	ワンコイン運賃試行輸送実績比較（5月分）	議題4

○武蔵村山市地域公共交通会議設置要綱

平成 23 年 3 月 30 日
訓令（乙）第 13 号

（設置）

第 1 条 地域における需要に応じた市民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため、道路運送法施行規則（昭和 26 年運輸省令第 75 号）第 9 条の 2 に規定する地域公共交通会議として、武蔵村山市地域公共交通会議（以下「交通会議」という。）を置く。

（所掌事項）

第 2 条 交通会議は、次に掲げる事項を協議するものとする。

- (1) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客輸送の態様及び運賃等に関すること。
- (2) 市町村運営有償輸送の必要性及び旅客から収受する対価に関すること。
- (3) その他交通会議が必要と認めること。

（組織）

第 3 条 交通会議は、委員 18 人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者をもって充てる。

(1) 次に掲げるところにより市長が委嘱する者

ア 学識経験者 1 人

イ 公募による市民 4 人以内

ウ 利用者の代表者 4 人以内

エ 国土交通省関東運輸局の職員 1 人

オ 一般乗合旅客自動車運送事業者の代表者 3 人以内

カ 一般乗用旅客自動車運送事業者の代表者 2 人以内

キ 社団法人東京バス協会の代表者 1 人

ク 一般乗合旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体の代表者 1 人

(2) 市長又はその指名する者 1 人

（委員の任期）

第 4 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

（会長及び副会長）

第 5 条 交通会議に、会長及び副会長 1 人を置く。

2 会長は第 3 条第 2 項第 1 号アに掲げる者である委員をもって充て、副会長は委員の互選により選任する。

- 3 会長は、交通会議を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 交通会議は、会長が招集する。ただし、最初の会議は、市長が招集する。

- 2 交通会議は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 交通会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(協議結果の取扱い)

第7条 交通会議において協議が調った事項については、関係者は、その結果を尊重し、当該事項の誠実な実施に努めるものとする。

(庶務)

第8条 交通会議の庶務は、都市整備部都市計画課において処理する。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、交通会議の運営に関し必要な事項は、会長が交通会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成23年4月1日から施行する。
(武蔵村山市内循環バス検討協議会設置要綱の廃止)
- 2 武蔵村山市内循環バス検討協議会設置要綱（平成19年武蔵村山市訓令(乙)第28号）は、廃止する。

武蔵村山市地域公共交通会議委員名簿（平成23年7月8日現在・敬称略）

氏名	選出区分	備考
藤井敬宏 ◎	学識経験者	日本大学理工学部教授
国田正徳	公募による市民	
原島ヨネ子	公募による市民	
宮田夕美子	公募による市民	
川島利男 ○	利用者の代表者	武蔵村山市議会議員
木村祐子	利用者の代表者	武蔵村山市議会議員
進藤仁	利用者の代表者	自治会連合会（馬場自治会長）
西田勇	利用者の代表者	村山団地連合自治会長
小矢島 応 行	国土交通省関東運輸局の職員	国土交通省関東運輸局 東京運輸支局輸送課長
村上正明	一般乗合旅客自動車運送事業者の代表者	東京都交通局自動車部計画課長
甲斐恒人	一般乗合旅客自動車運送事業者の代表者	立川バス株式会社 運輸部次長兼計画課長
関根康洋	一般乗合旅客自動車運送事業者の代表者	西武バス株式会社 経営企画部経営企画課長兼運輸計画課長
江郷順二	一般乗用旅客自動車運送事業者の代表者	さやま交通株式会社常務取締役
吉永克己	一般乗用旅客自動車運送事業者の代表者	武陽交通有限会社専務取締役
若林淳	社団法人東京バス協会の代表者	社団法人東京バス協会 乗合業務部担当課長
鵜澤健一	一般乗合旅客自動車運送事業者の事業用 自動車の運転者が組織する団体の代表者	立川バス労働組合執行委員長
山崎泰大	市長又はその指名する者	武蔵村山市副市長

※ ◎は会長、○は副会長

武蔵村山市地域公共交通会議事務局（都市整備部都市計画課）

氏名	職名
小田中 光	都市整備部長
石井 稔	都市計画課長
指田政明	都市計画課 計画グループ主査
加藤俊幸	都市計画課 計画グループ主任

○武蔵村山市附属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針

(平成19年6月11日市長決裁)

(趣旨)

第1条 この指針は、武蔵村山市附属機関等の設置及び運営に関する指針(平成18年10月11日市長決裁。以下「設置運営指針」という。)第11条第2項及び第13条第2項の規定に基づき、武蔵村山市における附属機関等の会議(以下「会議」という。)及び会議録の公開に関し、必要な事項を定めるものとする。

(用語)

第2条 この指針において使用する用語は、設置運営指針において使用する用語の例による。

(会議の公開の可否)

第3条 会議の公開の可否は、附属機関等の長(以下「議長」という。)が会議に諮って決定する。

(会議の非公開)

第4条 前条の規定により会議を公開することと決定した場合であっても、非公開情報(設置運営指針第11条第1項ただし書に規定する場合に該当する情報をいう。以下同じ。)を審議する会議は、公開しない。

2 一の会議で、非公開情報と非公開情報以外の情報を審議するときは、非公開情報以外の情報の審議に限り公開するものとする。

3 前2項の場合において、一の情報を非公開情報として取り扱うことの可否は、議長があらかじめ会議の庶務を処理する課又はこれに相当する組織の長(以下「庶務担当課長」という。)と協議して決定するものとする。

4 議長は、前項の規定により一の情報を非公開情報として取り扱うことと決定したときは、当該決定に係る非公開情報を審議する会議において、庶務担当課長をして当該情報を非公開情報として取り扱う理由を説明させ、当該決定について当該附属機関等の委員の承認を受けるものとする。

(会議の公開の方法)

第5条 会議の公開は、これを傍聴させることにより行う。

2 会議を傍聴しようとする者は、会議の開始時間の10分前までに、附属機関等の会議の傍聴申込書(第1号様式)により議長の許可を受けなければならない。

3 議長は、会議を傍聴しようとする者が武蔵村山市議会傍聴規則(昭和55年武蔵村山市議会規則第2号。以下「市議会傍聴規則」という。)第6条各号のいずれかに該当するときを除き、前項の許可をしなければならない。

4 前項の規定にかかわらず、議長は、会議を開催する場所の収容能力を超える傍聴の申込みがあったときは、当該収容能力を超える申込みについて、同項の許可をしないことができる。

5 前項の場合における第2項の許可は、原則として申込みの順序によるものとする。

(会議次第の配布等)

第6条 議長は、会議の傍聴の許可を受けた者(以下「傍聴者」という。)に会議の議題を記載した会議次第を配布する。

2 傍聴席は、原則として椅子のみとする。

(傍聴者の遵守事項等)

第7条 傍聴者は、市議会傍聴規則第7条に掲げる事項を遵守しなければならない。

2 傍聴者は、議長が会議に諮って許可した場合を除き、写真、映像等を撮影し、又は録音してはならない。

3 議長及び庶務担当課長は、前2項の規定に違反する傍聴者があるときは、必要な指示をするものとする。

4 議長は、前項の指示に従わない傍聴者があるときは、これを退席させることができる。

(会議公開運営要領の制定)

第8条 議長は、第3条の規定により会議を公開することと決定したときは、会議に諮って会議の公開に関する運営要領を定めるものとする。

2 前項の運営要領は、第2号様式に準じて定めるものとする。

(会議開催情報の公表の方法)

第9条 設置運営指針第12条の規定により会議の開催日時、開催場所、議題等を公表するときは、庶務担当課長は、会議の開催情報(第3号様式)を市政情報コーナーに備えるとともに、その概要を市ホームページに掲載するものとする。

2 前項の規定による会議の開催情報の公表は、会議の開催日の1週間前までに行わなければならない。ただし、緊急に会議を開催するときは、この限りでない。

3 第4条第1項又は第2項の規定により、会議を非公開とし、又は会議の一部を公開するときは、庶務担当課長は、第1項の規定による公表に際し、その旨及びその理由を示すものとする。

(会議録の作成)

第10条 会議録の作成は、次に掲げるところによる。

(1) 第4号様式に準ずること。

(2) 審議経過がわかるように、主な意見等を簡潔に記載すること。

(3) 発言者の氏名(職名その他発言者を識別できる情報を含む。以下同じ。)は、記載しないこと。ただし、発言者の氏名を公にしても、率直な意見の交換及び意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがないと認める場合であって、かつ、会議において承認を受けたときは、この限りでない。

(会議録の承認)

第11条 会議録は、当該会議録に係る会議の開催日以後1か月以内に、会議において承認を受けて確定するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、同項に規定する期間内に会議を開催する予定がないときその

他同項の規定により難いときは、当該会議録に係る会議に出席した附属機関等の委員全員の承認を受けることにより、同項の承認に代えることができる。

(会議録等の公表)

第12条 会議を公開により開催したときは、当該会議の会議録の全文又は概要及び会議資料を市ホームページに掲載し、及び市政情報コーナーに備えるものとする。ただし、次に掲げる会議資料は、市ホームページに掲載しないことができる。

(1) 電磁的方式(電子的方式、磁気的方式その他の人の知覚によっては認識することができない方式をいう。)で作成していないものその他市の使用に係る電子計算機に記録されていないもの

(2) 前号に掲げるもののほか、市ホームページに掲載しないことに合理的な理由があるもの

2 非公開により開催された会議の会議録の公開の手続は、武蔵村山市情報公開条例(平成18年武蔵村山市条例第20号)第2章第1節に定めるところによる。

附 則

(施行期日)

1 この指針は、平成19年7月1日から施行する。

(審議会等の会議の公開に関する基本方針等の廃止)

2 次に掲げる規程は、廃止する。

(1) 審議会等の会議の公開に関する基本方針(平成10年10月6日市長決裁)

(2) 審議会等の会議の公開に関する実施指針(平成11年1月12日市長決裁)

(3) 審議会等の会議の公開に関する実施指針の運用方針(平成11年1月12日市長決裁)

(経過措置)

3 この指針の施行の際、現にこの指針による廃止前の審議会等の会議の公開に関する実施指針の運用方針第4項の規定に基づいて制定された審議会等の会議の公開に関する運営要領は、第8条第1項の規定に基づいて制定されたものとみなす。

附 則(平成20年4月9日市長決裁)

第1条の規定による改正後の武蔵村山市附属機関等の設置及び運営に関する指針第13条の規定並びに第2条の規定による改正後の武蔵村山市附属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針第12条第1項及び第2項の規定は、この指針の施行の日以後に作成する会議録から適用する。

○武蔵村山市地域公共交通会議の会議の公開に関する運営要領（案）
（趣旨）

第1条 この要領は、武蔵村山市附属機関等の会議及び会議録の公開に関する指針（平成19年6月11日武蔵村山市長決裁。以下「会議公開指針」という。）第8条第2項の規定に基づき、武蔵村山市地域公共交通会議の会議の公開に関し、必要な事項を定めるものとする。

（会議の公開）

第2条 会議は、原則として公開する。

（傍聴の許可の報告）

第3条 会長は、指針第5条第2項の規定による許可を行うものとする。

2 会長が前項の許可をしたときは、庶務担当課長は、会議においてその旨を報告するものとする。

（委任）

第4条 この要領に定めるもののほか必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

今年度の会議の実施予定（案）

	開催時期 (予定)	主な議題（予定）
第1回	7月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・委員委嘱 ・今年度の会議の実施予定 ・市内循環バスの現状
第2回	8月下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・市内バス交通に関する現況整理 ・市内バス交通に対する意向の把握 ・バス交通を取り巻く課題の整理
第3回	9月中～下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・バス交通を取り巻く課題への対応方向性の検討 ・武蔵村山市におけるバス交通施策の方向性の検討
第4回	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の推進に向けた検討課題整理と対応方針の検討
第5回	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・市内循環バス見直し運行計画の策定（1） ・コミュニティタクシー実証実験計画の策定（1）
第6回	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・市内循環バス見直し運行計画の策定（2） ・コミュニティタクシー実証実験計画の策定（2）
第7回	1月	<ul style="list-style-type: none"> ・市内循環バス見直し運行計画の策定（3） ・コミュニティタクシー実証実験計画の策定（3）
第8回	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度のとりまとめ ・次年度スケジュール

実態調査の実施概要

(1) 市内循環バス（MM シャトル）利用者OD調査

1) 調査概要

【調査対象】 市内循環バス利用者

【実施日】 平日調査：平成 23 年 4 月 20 日（水）

休日調査：平成 23 年 4 月 17 日（日）

【実施方法】 実施日の市内循環バスの全車両において、乗車客に対して、降車バス停を聞き取りにより確認し、調査員が乗降バス停を記録。

2) 利用者数

		4月20日（平日）	4月17日（休日）
上北台ルート	通勤時	168	51
	日中時	145	130
	計	313	181
玉川上水ルート	通勤時	126	14
	日中時	265	161
	計	391	175
武蔵砂川ルート		84	82
西循環ルート		18	13
合計		806	451
全利用者合計： 1,257			

(2) 市内循環バス（MM シャトル）利用者アンケート調査

1) 調査概要

【調査対象】 市内循環バス利用者

【実施日】 平日調査：平成 23 年 4 月 20 日（水）

休日調査：平成 23 年 4 月 17 日（日）

【実施方法】 実施日の市内循環バスの全車両において、乗車客に対してアンケート票を配布し、郵送にて回収

2) 回収結果

	①	②	①/②	有効回答数
	配布枚数	回収枚数	回収率	
4月20日(平日)	544			
4月17日(休日)	317			
合計	861	338	39%	337

(3) 市内移動手段に関するアンケート調査

1) 調査概要

【調査対象】 下記の条件に当てはまる市内在住者（平成 23 年 4 月 1 日住民基本台帳）から 5,000 人を無作為抽出

- ・年齢：15～75 歳
- ・地域別の抽出比率は、地区別人口比率による
- ・外国人、横田基地居住者、特別養護老人施設入所者は対象外

【調査期間】 平成 23 年 5 月 18 日（水）発送、6 月 3 日（金）投函〆切

【実施方法】 調査対象者に対してアンケート票を郵送配布し、郵送にて回収

2) 回収結果

①	②	①/②	有効回答数
配布数	回収数	回収率	
5,000	1,457	29%	1,456

※平成 23 年 6 月 21 日到着分まで含めた。

市内循環バス(MM シャトル)利用者アンケート調査

1 市内循環バスの利用状況についておたずねします。

1-1 今回のバス利用について、出発地からバスを降車するまでの一連の流れについて教えてください。

- ①に、乗車バス停について、添付路線図を参照して、その番号を記載してください。
- ②に、降車バス停について、添付路線図を参照して、その番号を記載してください。
- ③に、出発地から乗車バス停までの所要時間について該当する項目の記号を記載してください。
- ④に、バスに乗車した日時を記入してください。
- ⑤に、乗車したバスのルートを選択して、その番号を記載してください。

<p>出発地 (自宅など)</p> <p>乗車バス停 ①</p> <p>降車バス停 ②</p>	<p>③ 出発地から乗車バス停までの所要時間 (歩いた時の所要時間)</p> <p>□ …以下のア～エより1つ選んでください。 ア. 1分未満 ウ. 3～4分 オ. 10分以上 イ. 1～2分 エ. 5～9分</p>	<p>⑤ 乗車したルート</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 玉川上水ルート 2. 上北台ルート 3. 武蔵砂川ルート 4. 西循環ルート <p style="text-align: center;">□</p>
<p>④ 乗車日</p> <p style="text-align: center;">平日 ・ 休日(土,日,祝)</p> <p>※平日又は休日のどちらかに ○をしてください。</p>	<p style="text-align: center;">乗車時間</p> <p style="text-align: center;">□ 時 □ 分頃</p>	

1-2 最終的な目的地はどこですか。場所や施設名称をお書き下さい。

(例：イオンモール、武蔵村山病院 など)

1-3 今回のバス利用の目的は何ですか？(1つに○)

1.通勤 2.通学 3.買い物 4.娯楽 5.通院 6.習い事 7.その他()

1-4 市内循環バスを利用する際の利用券種を教えてください。(1つに○)

1.通勤定期 2.通学定期 3.回数券 4.現金 5.ICカード(PASMO、Suica) 6.シルバーパス

1-5 市内循環バスの利用頻度を教えてください。(最も近いものに○)

1.ほぼ毎日 3.月に数回 5.年に数回
2.週に数回 4.月に1回 6.年に1回以下

1-6 市内循環バスを利用されている理由を教えてください。(主なもの2つに○)

1. バスが便利だから
2. バス以外に移動手段がないから
3. 自分で運転しなくても目的地に着くから
4. バイクや自動車での通勤・通学が禁止されているから
5. 専用回数券など安く移動できるから
6. 駐車料金やガソリン代を節約できるから
7. 交通事故の心配がないから
8. その他()

アンケートは裏面に続きます。⇒

2 市内循環バス利用における満足度についておたずねします。

2-1 現在の市内循環バス（MM シャトル）のバスサービスについてどのようにお考えですか？

1～15の各項目について、あなたのお考えに近いものをア～オから1つ選んで○をつけてください。

		非常に そう思う	やや そう思う	どちらとも 言えない	そう 思わない	全く 思わない
ダイヤ	1. 平日の運行本数が少ない	ア	イ	ウ	エ	オ
	2. 休日の運行本数が少ない	ア	イ	ウ	エ	オ
	3. 始発が遅い	ア	イ	ウ	エ	オ
	4. 終発が早い	ア	イ	ウ	エ	オ
	5. 鉄道・モノレールとの乗り継ぎがわるい	ア	イ	ウ	エ	オ
	6. バスとバスとの乗り継ぎがわるい	ア	イ	ウ	エ	オ
	7. 待ち時間が長い	ア	イ	ウ	エ	オ
ルート	8. 迂回が多く所要時間がかかる	ア	イ	ウ	エ	オ
	9. 目的地までバス路線がない	ア	イ	ウ	エ	オ
運賃	10. 運賃が高い	ア	イ	ウ	エ	オ
	11. 運賃支払いが面倒(小銭の準備、事前の両替)	ア	イ	ウ	エ	オ
車内	12. 座席が少ない	ア	イ	ウ	エ	オ
	13. あと何分で目的地に到着するのかがわかりにくい	ア	イ	ウ	エ	オ
バス停	14. 自宅や目的地からバス停が遠い	ア	イ	ウ	エ	オ
	15. バスがあと何分で到着するのかわからない	ア	イ	ウ	エ	オ

2-2 市内循環バスの問題点について改善してほしいものはどれですか？ 上記の1～15の中から3つまで選んでご記入ください。

⇒

--	--	--

2-3 現在のバスサービスに対する総合評価は？（1つに○）

1.非常に満足 2.満足 3.どちらとも言えない 4.不満 5.非常に不満

3 最後に、あなたご自身についておたずねします。

住所(市外の方は市区町村名) (市内) _____ (町) _____ 丁目 (市外) _____ 市区町村	性別・年齢 1.男 2.女 満 (____) 歳	職業(あてはまるものに○) 1.学生(小・中・高) 6.パート・アルバイト 2.学生(大学・専門学校等) 7.主婦・主夫 3.会社員・公務員・団体職員 8.無職 4.会社役員 9.その他 5.自営業・農業
運転免許保有状況(あてはまるものに○) 1.自動車運転免許 2.二輪車運転免許(原付のみ含む) 3.持っていない		自動車等の保有状況(あてはまるもの全てに○) 1.自動車 3.自転車 2.バイク、原付 4.持っていない

※自分専用としていつでも自由に使えるものを選んでください

4 市内循環バスについて、自由にご意見をお書きください。

アンケートは以上で終了です。最後までご協力いただき、ありがとうございました。

1 日常生活の行動パターンについておたずねします。

① 最近三か月で、**最も多く**外出した用件を選択肢1～7から1つ選んで○を付けてください。

選択肢			
1. 通勤・通学	2. 食料品や日用品の買物	3. 「2」以外の買物（家具、衣類、家電製品、贈り物等）	
4. 通院	5. 習い事・塾・趣味	6. 娯楽・レジャー	7. その他（具体的に記入：_____）

選択した外出用件について、以下の①～⑤の設問についてお答えください。

① 外出の頻度について、選択肢1～5からあてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。

平日			土・日・祝日		
1. ほぼ毎日	2. 週に2～3日	3. 週に1日	1. 週に2～3日	2. 週に1日	3. 月に2～3日
4. 月に3日以下	5. なし → 5に○を付けられたかたは、以下の②～④の「平日」は記入不要		4. 月に1日以下	5. なし → 5に○を付けられたかたは、以下の②～④の「土・日・祝日」は記入不要	


② 出発時間と帰宅時間について、選択肢1～7からあてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。

平日（※最も多い時間帯を選択）				土・日・祝日（※最も多い時間帯を選択）			
出発		帰宅		出発		帰宅	
1. 早朝～8時台	5. 18～20時台	1. 早朝～8時台	5. 18～20時台	1. 早朝～8時台	5. 18～20時台	1. 早朝～8時台	5. 18～20時台
2. 9～11時台	6. 21～24時台	2. 9～11時台	6. 21～24時台	2. 9～11時台	6. 21～24時台	2. 9～11時台	6. 21～24時台
3. 12～14時台	7. 深夜～早朝	3. 12～14時台	7. 深夜～早朝	3. 12～14時台	7. 深夜～早朝	3. 12～14時台	7. 深夜～早朝
4. 15～17時台		4. 15～17時台		4. 15～17時台		4. 15～17時台	

③ 最終目的地の施設名（市外の場合は市町村名）をそれぞれ1つずつご記入ください。

平日		土・日・祝日	

※目的地が複数の場合は、最も多い目的地についてご記入ください。
※店舗など同じ名称が複数ある場合は、支店名など場所が分かるようにご記入ください。

④ 最終目的地までの移動手段をおたずねします。「平日」、「土・日・祝日」それぞれについて、JRやモノレールなど鉄軌道を利用する場合は「b」と「c」、 利用しない場合は「a」をお答えください。

a. 目的地までの主な交通手段を1～9の中から1つ選んで○を付けてください。

平日	土・日・祝日
1. 徒歩	1. 徒歩
2. 自転車	2. 自転車
3. バイク・原付	3. バイク・原付
4. 自動車（自分で）	4. 自動車（自分で）
5. 送迎（家族等が）	5. 送迎（家族等が）
6. タクシー	6. タクシー
7. 路線バス	7. 路線バス
8. 市内循環バス	8. 市内循環バス
9. その他	9. その他

b. 自宅を出て最初に利用する駅を1～11の中から1つ選んで○を付けてください。

平日		土・日・祝日	
1. 上北台駅	7. 箱根ヶ崎駅	1. 上北台駅	7. 箱根ヶ崎駅
2. 桜街道駅	8. 西武立川駅	2. 桜街道駅	8. 西武立川駅
3. 玉川上水駅	9. 武蔵砂川駅	3. 玉川上水駅	9. 武蔵砂川駅
4. 立川北駅	10. 東大和市駅	4. 立川北駅	10. 東大和市駅
5. 立川駅	11. その他	5. 立川駅	11. その他
6. 昭島駅		6. 昭島駅	

c. 自宅を出て最初に利用する駅までの主な交通手段を1～9の中から1つ選んで○を付けてください。

平日		土・日・祝日	
1. 徒歩	6. タクシー	1. 徒歩	6. タクシー
2. 自転車	7. 路線バス	2. 自転車	7. 路線バス
3. バイク・原付	8. 市内循環バス	3. バイク・原付	8. 市内循環バス
4. 自動車（自分で）	9. その他	4. 自動車（自分で）	9. その他
5. 送迎（家族等が）		5. 送迎（家族等が）	

⑤ ④の「a」又は「c」で、「7. 路線バス」又は「8. 市内循環バス」を選択しなかったかたにおたずねします。

利用しない理由は何ですか。路線バス、市内循環バスそれぞれについて、当てはまる理由を全て選んでください。

路線バス	市内循環	選択肢			
		1. 始発が遅い	6. 平日の通勤時 ^{※1} の運行本数が少ない	10. 迂回が多く所要時間がかかる	
		2. 終発が早い	7. 平日の日中時 ^{※2} の運行本数が少ない	11. 鉄道や他のバスとの乗換が不便	
		3. 運賃が高い	8. 休日の通勤時 ^{※1} の運行本数が少ない	12. 目的地が比較的近くバスを利用するまでもない	
		4. バス停がそばにない、遠い	9. 休日の日中時 ^{※2} の運行本数が少ない	13. 家族等が自動車などで送迎してくれる	
		5. 目的地までバス路線がない		14. 他の交通手段（自動車や自転車）の方が便利	

選択肢から当てはまる番号をすべて記入

※1：概ね6～8、18～22時台 ※2：概ね9～17時台

② 最近三か月で、**二番目に多く**外出した用件を1～7から1つ選んで○を付けてください。

選択肢			
1. 通勤・通学	2. 食料品や日用品の買物	3. 「2」以外の買物（家具、衣類、家電製品、贈り物等）	
4. 通院	5. 習い事・塾・趣味	6. 娯楽・レジャー	7. その他（具体的に記入：_____）

↓ 選択した外出用件について、以下の①～⑤の設問についてお答えください。

① 外出の頻度について、選択肢1～5からあてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。

平日			土・日・祝日		
1. ほぼ毎日	2. 週に2～3日	3. 週に1日	1. 週に2～3日	2. 週に1日	3. 月に2～3日
4. 月に3日以下	5. なし → 5に○を付けられたかたは、以下の②～④の「平日」は記入不要		4. 月に1日以下	5. なし → 5に○を付けられたかたは、以下の②～④の「土・日・祝日」は記入不要	

② 出発時間と帰宅時間について、選択肢1～7からあてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。


平日（※最も多い時間帯を選択）				土・日・祝日（※最も多い時間帯を選択）			
出発		帰宅		出発		帰宅	
1. 早朝～8時台	5. 18～20時台	1. 早朝～8時台	5. 18～20時台	1. 早朝～8時台	5. 18～20時台	1. 早朝～8時台	5. 18～20時台
2. 9～11時台	6. 21～24時台	2. 9～11時台	6. 21～24時台	2. 9～11時台	6. 21～24時台	2. 9～11時台	6. 21～24時台
3. 12～14時台	7. 深夜～早朝	3. 12～14時台	7. 深夜～早朝	3. 12～14時台	7. 深夜～早朝	3. 12～14時台	7. 深夜～早朝
4. 15～17時台		4. 15～17時台		4. 15～17時台		4. 15～17時台	

③ 最終目的地の施設名（市外の場合は市町村名）をそれぞれ1つずつご記入ください。

平日		土・日・祝日	

※目的地が複数の場合は、最も多い目的地についてご記入ください。
※店舗など同じ名称が複数ある場合は、支店名など場所が分かるようにご記入ください。

④ 最終目的地までの移動手段をおたずねします。「平日」、「土・日・祝日」それぞれについて、JRやモノレールなど

鉄軌道を利用する場合は「b」と「c」、 利用しない場合は「a」をお答えください。



a. 目的地までの主な交通手段を1～9の中から1つ選んで○を付けてください。

平日	土・日・祝日
1. 徒歩	1. 徒歩
2. 自転車	2. 自転車
3. バイク・原付	3. バイク・原付
4. 自動車（自分で）	4. 自動車（自分で）
5. 送迎（家族等が）	5. 送迎（家族等が）
6. タクシー	6. タクシー
7. 路線バス	7. 路線バス
8. 市内循環バス	8. 市内循環バス
9. その他	9. その他

b. 自宅を出て最初に利用する駅を1～11の中から1つ選んで○を付けてください。

平日		土・日・祝日	
1. 上北台駅	7. 箱根ヶ崎駅	1. 上北台駅	7. 箱根ヶ崎駅
2. 桜街道駅	8. 西武立川駅	2. 桜街道駅	8. 西武立川駅
3. 玉川上水駅	9. 武蔵砂川駅	3. 玉川上水駅	9. 武蔵砂川駅
4. 立川北駅	10. 東大和市駅	4. 立川北駅	10. 東大和市駅
5. 立川駅	11. その他	5. 立川駅	11. その他
6. 昭島駅		6. 昭島駅	

c. 自宅を出て最初に利用する駅までの主な交通手段を1～9の中から1つ選んで○を付けてください。

平日		土・日・祝日	
1. 徒歩	6. タクシー	1. 徒歩	6. タクシー
2. 自転車	7. 路線バス	2. 自転車	7. 路線バス
3. バイク・原付	8. 市内循環バス	3. バイク・原付	8. 市内循環バス
4. 自動車（自分で）	9. その他	4. 自動車（自分で）	9. その他
5. 送迎（家族等が）		5. 送迎（家族等が）	

⑤ ④の「a」又は「c」で、「7. 路線バス」又は「8. 市内循環バス」を選択しなかったかたにおたずねします。

利用しない理由は何ですか。路線バス、市内循環バスそれぞれについて、当てはまる理由を全て選んでください。

路線バス	市内循環	選択肢			
		1. 始発が遅い	6. 平日の通勤時 ^{※1} の運行本数が少ない	10. 迂回が多く所要時間がかかる	11. 鉄道や他のバスとの乗換が不便
		2. 終発が早い	7. 平日の日中時 ^{※2} の運行本数が少ない	12. 目的地が比較的近くバスを利用するまでもない	13. 家族等が自動車などで送迎してくれる
		3. 運賃が高い	8. 休日の通勤時 ^{※1} の運行本数が少ない	14. 他の交通手段（自動車や自転車）の方が便利	
		4. バス停がそばにない、遠い	9. 休日の日中時 ^{※2} の運行本数が少ない		
		5. 目的地までバス路線がない			

選択肢から当てはまる番号をすべて記入

※1：概ね6～8、18～22時台 ※2：概ね9～17時台

③ 最近三か月で、**三番目に多く**外出した用件を1～7から1つ選んで○を付けてください。

選択肢						
1. 通勤・通学	2. 食料品や日用品の買物	3. 「2」以外の買物（家具、衣類、家電製品、贈り物等）				
4. 通院	5. 習い事・塾・趣味	6. 娯楽・レジャー	7. その他（具体的に記入：）			

↓ 選択した外出用件について、以下の①～⑤の設問についてお答えください。

① 外出の頻度について、選択肢1～5からあてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。

平日			土・日・祝日		
1. ほぼ毎日	2. 週に2～3日	3. 週に1日	1. 週に2～3日	2. 週に1日	3. 月に2～3日
4. 月に3日以下	5. なし → 5に○を付けられたかたは、以下の②～④の「平日」は記入不要		4. 月に1日以下	5. なし → 5に○を付けられたかたは、以下の②～④の「土・日・祝日」は記入不要	

② 出発時間と帰宅時間について、選択肢1～7からあてはまる番号を1つ選んで○を付けてください。

平日（※最も多い時間帯を選択）				土・日・祝日（※最も多い時間帯を選択）			
出発		帰宅		出発		帰宅	
1. 早朝～8時台	5. 18～20時台	1. 早朝～8時台	5. 18～20時台	1. 早朝～8時台	5. 18～20時台	1. 早朝～8時台	5. 18～20時台
2. 9～11時台	6. 21～24時台	2. 9～11時台	6. 21～24時台	2. 9～11時台	6. 21～24時台	2. 9～11時台	6. 21～24時台
3. 12～14時台	7. 深夜～早朝	3. 12～14時台	7. 深夜～早朝	3. 12～14時台	7. 深夜～早朝	3. 12～14時台	7. 深夜～早朝
4. 15～17時台		4. 15～17時台		4. 15～17時台		4. 15～17時台	

③ 最終目的地の施設名（市外の場合は市町村名）をそれぞれ1つずつご記入ください。

平日		土・日・祝日	

※目的地が複数の場合は、最も多い目的地についてご記入ください。
※店舗など同じ名称が複数ある場合は、支店名など場所が分かるようにご記入ください。

④ 最終目的地までの移動手段をおたずねします。「平日」、「土・日・祝日」それぞれについて、JRやモノレールなど

鉄軌道を利用する場合は「b」と「c」、 利用しない場合は「a」をお答えください。



a. 目的地までの主な交通手段を1～9の中から1つ選んで○を付けてください。

平日	土・日・祝日
1. 徒歩	1. 徒歩
2. 自転車	2. 自転車
3. バイク・原付	3. バイク・原付
4. 自動車（自分で）	4. 自動車（自分で）
5. 送迎（家族等が）	5. 送迎（家族等が）
6. タクシー	6. タクシー
7. 路線バス	7. 路線バス
8. 市内循環バス	8. 市内循環バス
9. その他	9. その他

b. 自宅を出て最初に利用する駅を1～11の中から1つ選んで○を付けてください。

平日		土・日・祝日	
1. 上北台駅	7. 箱根ヶ崎駅	1. 上北台駅	7. 箱根ヶ崎駅
2. 桜街道駅	8. 西武立川駅	2. 桜街道駅	8. 西武立川駅
3. 玉川上水駅	9. 武蔵砂川駅	3. 玉川上水駅	9. 武蔵砂川駅
4. 立川北駅	10. 東大和市駅	4. 立川北駅	10. 東大和市駅
5. 立川駅	11. その他	5. 立川駅	11. その他
6. 昭島駅		6. 昭島駅	

c. 自宅を出て最初に利用する駅までの主な交通手段を1～9の中から1つ選んで○を付けてください。

平日		土・日・祝日	
1. 徒歩	6. タクシー	1. 徒歩	6. タクシー
2. 自転車	7. 路線バス	2. 自転車	7. 路線バス
3. バイク・原付	8. 市内循環バス	3. バイク・原付	8. 市内循環バス
4. 自動車（自分で）	9. その他	4. 自動車（自分で）	9. その他
5. 送迎（家族等が）		5. 送迎（家族等が）	

⑤ ④の「a」又は「c」で、「7. 路線バス」又は「8. 市内循環バス」を選択しなかったかたにおたずねします。

利用しない理由は何ですか。路線バス、市内循環バスそれぞれについて、当てはまる理由を全て選んでください。

路線バス	市内循環	選択肢			
		1. 始発が遅い	6. 平日の通勤時 ^{※1} の運行本数が少ない	10. 迂回が多く所要時間がかかる	
		2. 終発が早い	7. 平日の日中時 ^{※2} の運行本数が少ない	11. 鉄道や他のバスとの乗換が不便	
		3. 運賃が高い	8. 休日の通勤時 ^{※1} の運行本数が少ない	12. 目的地が比較的近くバスを利用するまでもない	
		4. バス停がそばにない、遠い	9. 休日の日中時 ^{※2} の運行本数が少ない	13. 家族等が自動車などで送迎してくれる	
		5. 目的地までバス路線がない		14. 他の交通手段（自動車や自転車）の方が便利	

選択肢から当てはまる番号をすべて記入

※1：概ね6～8、18～22時台 ※2：概ね9～17時台

2 送迎についておたずねします。

最近三か月で、ご家族や知人などのために自ら自動車等を運転して送迎したことはありますか。該当する番号に○を付けてください。

1. ある	2. ない
-------	-------

2に○印を付けられたかたは、次の**3**へ

※「1.ある」と答えたかたは、下記の①～④についてお答えください。

①頻度：平日及び休日(土・日・祝日)にどのくらいの頻度で送迎していますか。(太枠内に番号を記入)

平日	土・日・祝日	選択肢		
		1.ほぼ毎日	2.週に2～3日	3.週に1日
		4.月に2～3日	5.月に1日以下	6.なし

②目的：送迎の目的は何ですか？最も多い目的を選んでください。(太枠内に番号を記入)

平日	土・日・祝日	選択肢	
		1.家族を病院まで送迎	2.子供を塾や習い事で送迎
		3.通勤・通学する家族を最寄り駅に送迎	
		4.通勤・通学する家族を勤め先や学校まで送迎	
		5.その他 → 太枠内に具体的にご記入ください	

③行き先：その目的の行き先名を教えてください。(例：玉川上水駅、イオンモール、武蔵村山病院 など)

平日	土・日・祝日

④理由：送迎している主な理由を1つ教えてください。(太枠内に番号を記入)

平日	土・日・祝日	選択肢	
		1.所要時間が短い	2.都合の良い時間に移動できる
		3.他の交通手段よりも安価	4.天候に左右されない
		5.他の交通手段よりも安全	
		6.その他 → 太枠内に具体的にご記入ください	

3 バス利用についておたずねします。

バスを使用して行きたいが、バスで行くには不便な場所(公共施設、店舗、駅など)がありますか。該当する番号に○を付けてください。

1. ある	2. ない
-------	-------

2に○印を付けられたかたは、次の**4**へ

※「1.ある」と答えたかたは、その場所(公共施設、店舗、駅など)の名称又は住所等を、①にご記入ください。(例：総合体育館、〇〇駅 など)

また、不便だと感じる理由をそれぞれ②の選択肢から1つ選んで○を付けてください。

「その他」を選んだ場合は具体的な理由をご記入ください。

①その場所の名称又は住所等	②不便だと感じる理由
	1.運行本数が少ない 2.目的地のそばにバス停がない 3.所要時間がかかる 4.直通のバス路線がない 5.乗換えが必要 6.その他 → 下記に具体的にご記入ください ()
	1.運行本数が少ない 2.目的地のそばにバス停がない 3.所要時間がかかる 4.直通のバス路線がない 5.乗換えが必要 6.その他 → 下記に具体的にご記入ください ()
	1.運行本数が少ない 2.目的地のそばにバス停がない 3.所要時間がかかる 4.直通のバス路線がない 5.乗換えが必要 6.その他 → 下記に具体的にご記入ください ()

4 今後のバスサービスのあり方についておたずねします。

4-1 ご自身のバスの利用頻度が上がる条件として、3つまで選んで○を付けてください。
「その他」を選んだ場合は具体的な条件をご記入ください。

1. 運行本数が増える 2. 始発が早くなる 3. 終発が遅くなる 4. 自分の行きたい目的地にバス路線ができる 5. バス路線の行き先、経由地がわかりやすくなる 6. 100円などの均一運賃や、わかりやすい運賃体系になる 7. バス停付近の駐車場に安く駐車できる 8. バス停付近の駐輪場に無料で自転車を駐輪できる 9. バス停に屋根やベンチを付ける 10. その他（具体的に記入： _____）
--

4-2 仮に今後バスサービスが次のA～Cのレベルになった場合、ご自身の利用頻度はどうなりますか？外出用件別にお答えください。
（外出用件ごとに、選択肢から1つ選んで番号を記入してください）

サービスレベル	外出用件	選択肢						
		(1)通勤・通学	(2)食料品や日用品の買物	(3) (2)以外の買物	(4)通院	(5)習い事・塾・趣味	(6)娯楽・レジャー	7.利用しない
A. 運行本数は現行のままだが、運賃は半額になる								
B. 運賃は現行のままだが、運行本数は2倍になる								
C. 運賃は半額になり、運行本数は2倍になる								

5 市内循環バス（MMシャトル）の位置づけや運営についておたずねします。

市内には、民間等の運営による路線バスと、市が経費の一部を補助する市内循環バス（MMシャトル）が運行されておりますが、市内循環バスの利用者は年々減少傾向にあり、運営が厳しい状況となっております。

上記の点を踏まえ、次の設問についてお答えください。

5-1 市内循環バスの位置づけについて、ご自身のお考えに最も近いものは？（1つに○）

1. 現在でも必要不可欠で重要な移動手段 2. 現在は特に必要性を感じないが、将来高齢になったときなどには必要な移動手段 3. 現在も将来も特に必要性を感じない
--

5-2 市内循環バスの運営について、ご自身のお考えに最も近いものは？（1つに○）

1. 運営は市内循環バス利用者の運賃収入によって行われるべきであり、利用者が減少すれば、その分バス交通サービスが縮小・廃止されるのはやむを得ない 2. 利用者の負担はあるにしても、利用しない人も含めた全体で市内循環バスサービスを維持していくようにすべき

↓2に○印を付けられたかたは、次ページの5-3へ

5-3 5-2 で2を選んだかたにおたずねします。

運営が厳しい場合の市内循環バスサービスの維持のあり方として、ご自身のお考えに近いものは？（1つに○）

1. 運賃は値上げせず、基本的に不足する分は市全体で費用負担して(すなわち税金などで)維持していく
2. 運賃の値上げなど利用者の負担を基本として、市全体での費用負担はできるだけ抑えて維持していく
3. 運賃の値上げなど利用者の負担増はなるべく小幅としつつ、市全体で費用負担して維持していく

6 新たな公共交通サービスについておたずねします。

市では、市内循環バスを補完する新たな公共交通(市内循環バスより小型の8~10人乗りの車両)による交通サービスを検討しています。下記のイメージ図のような2種類のサービスが考えられますが、あなたが望ましいと考えるサービスについてお答えください。

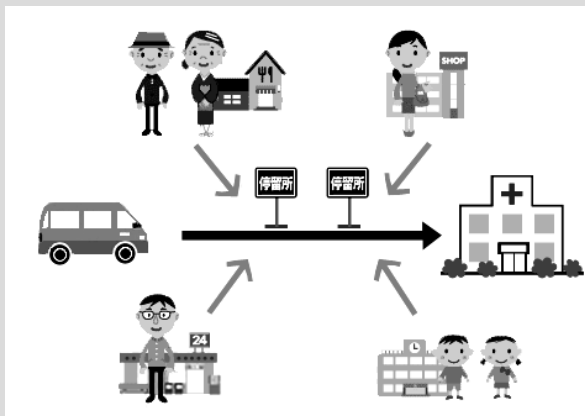
※どちらのサービスも運行区間は市内のみと想定してお答えください。

1. 定時定路線型の交通サービス

定時定路線型の交通サービスとは、現在の路線バスや市内循環バスと同様の乗り合いサービスを指します。

ただし、ここでは使用する車両について、8~10人乗りの小型車両によるサービスと想定します。

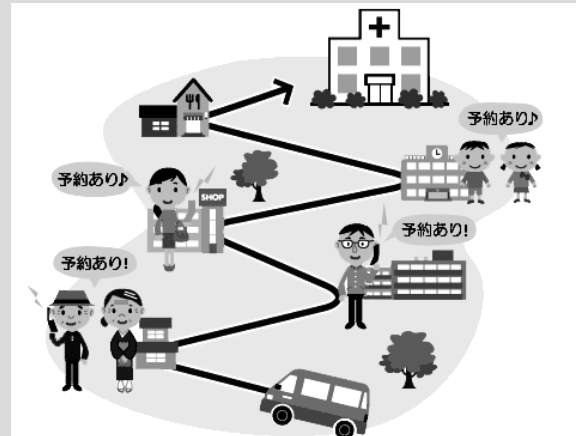
- (特徴)
- ・決まった停留所で乗降
 - ・運行経路や運行時刻が決まっている
(到着時間が予測できる)
 - ・事前の連絡(予約)は不要
 - ・利用料金はデマンド型より低額



2. デマンド型の交通サービス

デマンド型の交通サービスとは、あらかじめ利用者登録した方々が、予約に合わせて乗り合いしながら、希望する場所から場所まで(ドア・ツー・ドア)の移動を提供するようなサービスを指します。使用する車両については、8~10人乗りの小型車両を想定します。

- (特徴)
- ・自宅等の前や目的地で乗降できる
 - ・運行経路や運行時刻は利用者の人数や立ち寄り位置等の状況で変動する
(到着時刻が予測できない)
 - ・事前の連絡(電話予約など)が必要
 - ・利用料金は定時定路線型より高額



■ 小型車両のイメージ

写真は小平市の「ぶるべー号」

※小平市ホームページより



- 6-1** 前ページの新たな公共交通サービスのうち、どちらのサービスが望ましいですか。
 1又は2のいずれかを選んで○を付けてください。
 また、選んだ理由は何ですか。最もよく当てはまる記号を1つ選んで○を付けてください。「その他」を選んだ場合は具体的な理由をご記入ください。
 ※どちらのサービスも運行区間は市内のみと想定してお答えください。

望ましいサービス	選んだ理由
<p>1. 定時定路線型の交通サービス</p> <p>※ まず、1か2のいずれかを選んで○を付けてください。</p>	<p>A. 停留所の場所が決まっているから。 B. 運行経路や運行時刻が決まっているから。 (到着時刻が予測できるから)。 C. 予約する必要があるから。 D. 料金が安い方がよいから。 E. その他 (具体的に記入：_____)</p>
<p>2. デマンド型の交通サービス</p>	<p>A. 乗りたい場所で乗れるから。 B. 目的地まで移動できるから。 C. 予約のある時間・場所しか運行せず無駄がないから。 D. その他 (具体的に記入：_____)</p>

- 6-2** 6-1で選んだサービスを利用したいと思う目的は何ですか。最もよく当てはまる番号を1つ選んで○を付けてください。「その他」を選んだ場合は具体的な理由をご記入ください。
 ※運行区間は市内のみと想定してお答えください。

<p>1. 通勤・通学など決まった時間での移動 2. 買物や通院などある程度自由が利く時間での移動 3. 車検や他の家族の使用などで自家用車が使用できない時など臨時的な移動 4. 雨天時などできるだけ歩かずに帰宅したい時などの移動 5. 市内在住の知人同士で集まる際の移動 6. 市役所や図書館など公共施設への移動 7. その他 (具体的に記入：_____)</p>

- 6-3** 6-1で選んだサービスを利用したい時間帯はいつですか。最も利用すると思う時間帯を1つ選んで○を付けてください。
 ※運行区間は市内のみと想定してお答えください。

<p>1. 早朝～8 時台 2. 9～11 時台 3. 12～14 時台 4. 15～17 時台 5. 18～20 時台 6. 21 時以降</p>

7 最後に、あなたご自身についておたずねします。

お住まいについて	武蔵村山市 (町名) _____ 丁目 _____				
性別について (一つに○)	1. 男性 2. 女性				
年齢について (一つに○)	1. 15～19 歳	2. 20～29 歳	3. 30～39 歳	4. 40～49 歳	
	5. 50～59 歳	6. 60～64 歳	7. 65～74 歳	8. 75 歳以上	
職業について (一つに○)	1. 学生(高校)	2. 学生(大学・専門学校等)	3. 会社員・公務員		
	4. 会社役員・団体役員	5. 自営業・農業	6. パート・アルバイト		
	7. 主婦・主夫	8. 無職	9. その他		
保有している運転免許について (該当全てに○)	1. 普通自動車の運転免許を保有している				
	2. 自動二輪車の運転免許を保有している				
	3. 原動機付自転車の運転免許を保有している				
	4. 運転免許を保有していない				
自動車およびバイク(原動機付自転車を含む)の利用の自由度について 該当する番号を()に記入	自動車	バイク (原付含む)	選択肢		
	()	()	1. 自由に利用できる 2. 自由に利用できる機会が比較的多い 3. 自由に利用できる機会が比較的少ない 4. 利用できない 5. その他(具体的に記入: _____)		
外出時に使うものがありますか (該当全てに○)	1. なし	2. 杖	3. ベビーカー	4. 車いす	5. シニアカー
	6. 荷物を入れたり腰掛けられる手押し車		7. その他()		

8 武蔵村山市のバス交通、その他交通全般について自由にご意見をお書きください。

アンケートは以上で終了です。最後までご協力いただき、ありがとうございました。

武蔵村山市内循環バス輸送実績(過去5年間)

区分 年度	実車キロ数 [km]	輸送人員 [人]	運送収入 [千円]	経費総額 [千円]	市補助金額 [千円]	利用者一人 当たり 市負担額 [円]
平成18年度	486,861	325,192	43,976	155,612	84,756	261
平成19年度	505,538	347,997	47,060	163,305	85,000	244
平成20年度	484,265	307,526	41,587	186,174	88,763	289
平成21年度	370,458	229,702	31,063	165,149	85,000	370
平成22年度	369,442	241,677	31,188	165,649	85,000	352

注 利用者一人当たり市負担額＝市補助金額÷輸送人員

ワンコイン運賃試行輸送実績比較（5月分）

◎平成22、23年5月の輸送実績比較（シルバーパス利用者を除く）

	平成23年 (ワンコイン運賃)	平成22年 (対キロ運賃)	差引増減
輸送人員（人）	18,862	17,121	1,741
運賃収入（円）	1,875,850	2,472,118	▲596,268

◀参考▶ルート別輸送人員比較（シルバーパス利用者を除く）

	平成23年 (ワンコイン運賃)	平成22年 (対キロ運賃)	差引増減
上北台	8,650	7,658	992
玉川上水	7,296	6,919	377
武蔵砂川	2,539	2,265	274
西循環	377	279	98
合計	18,862	17,121	1,741

◀参考▶5月前半（1日から15日まで）及び後半（16日から31日まで）の輸送人員比較（シルバーパス利用者を除く）

	平成23年 (ワンコイン運賃)	平成22年 (対キロ運賃)	差引増減
5月前半 輸送人員（人）	8,492	7,622	870
5月後半 輸送人員（人）	10,370	9,499	871

◀参考▶平成22、23年4月の輸送人員比較（シルバーパス利用者を除く）

	平成23年 (対キロ運賃)	平成22年 (対キロ運賃)	差引増減
輸送人員（人）	15,394	21,464	▲6,070
運賃収入（円）	1,912,191	2,800,237	▲888,046

※震災の影響で、バス業界全体で輸送実績が落ち込んでいる。